

試合番号 : 398		試合会場 : グリーンアリーナ神戸 (神戸総合運動公園体育館)				観客数 : 373	
開始時間 : 17:00		終了時間 : 18:52		試合時間 : 01:52		主審 : 渡部 菜保子	
副審 : 吉岡 奈々		通算		20 勝 8 敗		通算	
久光スプリングス		ポイント : 62		25 第1セット 18		PFUブルーキャッツ	
監督コメント		3		27 第2セット 29		11 勝 19 敗	
まずはホームゲーム3連戦の初戦で3ポイントを得ることができ嬉しく思う。序盤からサーブで相手にプレッシャーを与え自分たちのリズムで戦えた。第2セットは相手のサーブに押され、セットを落としてしまった。しかしコート内でコミュニケーションを図り、後半にかけて改善し質の高いバレーを展開することができた。		1		25 第3セット 17		監督コメント	
明日以降も負けられない戦いが続くが、まだまだ自分たちは良くなれると思う。明日に向けてしっかり準備して臨みたい。本日もたくさんの応援ありがとうございました。				25 第4セット 15		サイドアウトの局面で相手のブロックに押され、取り切れなかった。いくつかブレイクポイントで良いプレーもあったが、サイドアウトを取れないと勝ち切れないので、ラリーを制して点数が取れるようにしていきたい。残り試合もわずかなので全員一丸となって戦っていききたい。本日も応援して下さい。皆様、ありがとうございました。	
要約レポート				第5セット			
現在4位の久光スプリングスと8位のPFUブルーキャッツの一戦。第1セット、久光アキラデウオのブロード攻撃が決まり流れを掴む。対するPFUは志摩のスパイクで食らいつづが、久光・石井の連続サービスエースが決まると、リードをしたまま久光がセットを先取する。第2セット、PFUは高相の緩急をつけた攻撃やバルデスのスパイクで勢いに乗る。久光も井上(愛)、濱松が得点を重ね、両者一歩も譲らずデュースとなる。PFUは高相のスパイクが決まり、セットを取り返した。第3セット、久光は立ち上がりから井上(愛)のスパイクや中川のブロックが決まり流れに乗る。PFUは森田、和才の両リベロがレシーブで粘るも、中盤からリードした久光がこのセットを取りセットカウントを2-1とする。第4セット、後がないPFUは、高さのあるジャンや志摩のスパイクでブレイクするが、的を絞らせない多彩な攻撃でリードを広げ主導権を握った久光が勝利した。							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		- 勝 - 敗		通算	
		ポイント :		第1セット		- 勝 - 敗	
監督コメント				第2セット		ポイント :	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		- 勝 - 敗		通算	
		ポイント :		第1セット		- 勝 - 敗	
監督コメント				第2セット		ポイント :	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		- 勝 - 敗		通算	
		ポイント :		第1セット		- 勝 - 敗	
監督コメント				第2セット		ポイント :	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							